



●協力：三笠カヌークラブ、三笠市役所、岩見沢市役所





昭和25年(1900年) 吉田 初三郎 作
北海道立図書館 所蔵

Introduction of ikusyunbetsu-river

幾春別川の紹介

幾春別川ってどんな川？

幾春別川は、アイヌ語の「イ・クシ・ウン・ペツ」(向こう側にある川)が語源で、夕張山脈の幾春別岳(標高 1,063m)に水源を発し三笠市、岩見沢市を西流する、流路延長 59km、流域面積 332 平方 km の河川です。以前は西川町で南西方向に流路を変えて幌向川に注いでいましたが、幾春別川放水路の完成後は北村幌達布で石狩川に合流しています。上流部には深い山々に囲まれた桂沢湖があり、周囲の渓谷からは、エゾミカサリュウやアンモナイトなど、数多くの貴重な化石が出土しています。

幾春別川の歴史

明治元年、木材伐採のため幌内付近(現在の三笠市幌内)で石炭が発見されて以来、幾春別川流域では石炭輸送のため鉄道や道路が築かれ「炭鉱のまち」として発展し、最盛期には15炭鉱を数え人口も6万3千人(昭和35年)を超えました。

昭和初期から洪水調節や、上水道用水の安定供給などを目的に建設された桂沢ダムも昭和32年に完成し、水の恵みを広くもたらしました。また、昭和51年には桂沢湖上流で「エゾミカサリュウ」が発見され「化石と観光のまち」として歩みははじめました。

平成元年に全ての炭鉱が閉山となり、石炭によって汚れていた川はきれいになりサケの遡上も確認され、現在では、サケの稚魚放流やカヌーのイベントなど、川と親しむ行事が多数行われています。

Introduction of town where ikusyunbetsu-river flows

(※人口、面積は平成19年12月末現在のもの)

幾春別川が流れる町の紹介

岩見沢市

人 口 92,363 人
面 積 481.10 平方km
町の木 コブシ
町の鳥 ハト

岩見沢市は、幹線道路が交差する交通・物流の要所として発展しているまちです。大型遊園地「北海道グリーンランド」などレジャー施設も人気を呼ぶほか、米、たまねぎ、ゆり根、じゃがいもなど多くの特産品が作られています。

三笠市

人 口 11,453 人
面 積 302.64 平方km
市の木 ナナカマド
市の鳥 ハクセキレイ

三笠市は空知地方の南部、北海道のほぼ中央に位置しています。豊かな森と湖に恵まれた三笠市は、北海道の石炭と鉄道の発祥の地として栄えました。「エゾミカサリュウ」「アンモナイト」をはじめとした多くの化石を産する、地質学的にも重要な地域とされています。



幾春別川 四季の写真

春

spring

まだ雪の溶けない4月中旬、幾春別川合流地点では南から戻ってきた渡り鳥が羽をやすめる様子が見られます。



夏

summer

幾春別川上流付近では毎年カヌーのイベントが開催され、自然あふれる景観の中を下る様は圧巻です。



秋

autumn

幾春別川の秋は静かに訪れます。
桂沢湖周辺での紅葉は北海道でも有数のスポットとなっています。



冬

winter

雪と氷で覆われる 1 月中旬、幾春別川上流の桂沢湖では、ワカサギ釣りを楽しむために毎年多くの人々がやってきます。



幾春別川 りばーマップ

- いくしゅんべつがわ -



各ページの向きは、川を下っている方向にレイアウトされています。
カヌーツーリング等でこのマップを使用する場合、降水・雪解け等水量により河川の状況は大きく変化します。
下見等事前に川の調査を行い、安全なカヌーツーリングを心掛けて下さい。また、カヌー乗降の際には河川施設や私有地にご注意下さい。

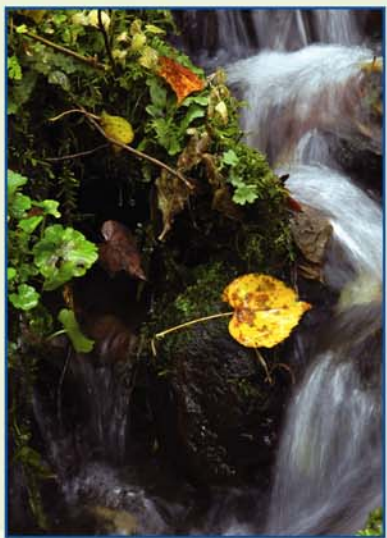
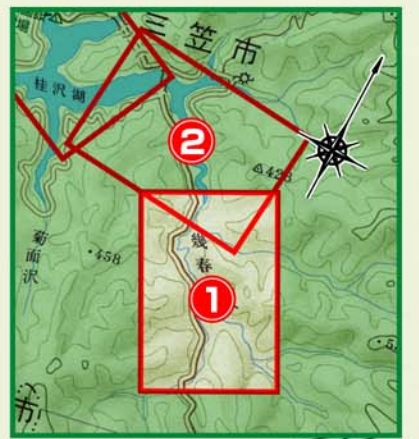
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。」

(承認番号 平19総複、第783号)

表 示	項 目
	河 川
	国 道
	主 要 ・ 一 般 道 道
	J R
	築 堤
	自 動 車 通 行 可
	自 転 車 専 用 道 路
	橋

表 示	項 目
	樋 管 ・ 樋 門
	公 共 機 関 そ の 他
	病 院
	み ど こ ろ
	体 験 ス ポ ッ ト
	緊 急 連 絡 先
	バ ス 停
	駐 車 場

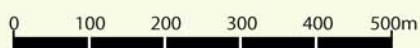
表 示	項 目
	ト 多 目 的 イ レ
	温 泉
	ス キ ー 場
	キ ャ ン プ 場
	車 両 進 入 禁 止
	キ ロ ポ ス ト
	撮 影 ポ イ ン ト
	川 下 り ガ イ ド

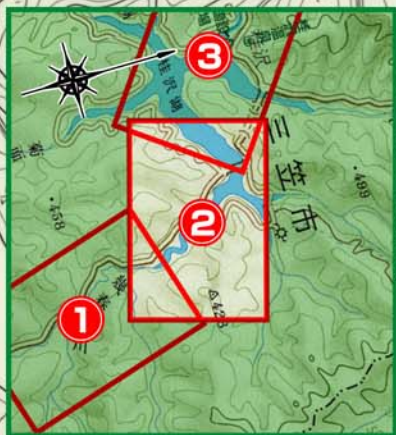


幾春別川源流付近
(ホロモイ沢)



緊急連絡先	
三笠市役所	01267-2-3181
三笠市消防署	01267-2-3499
三笠警察署	01267-2-8110
三笠市観光協会	01267-3-2828

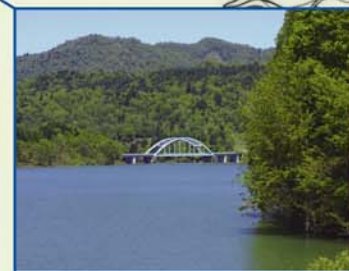
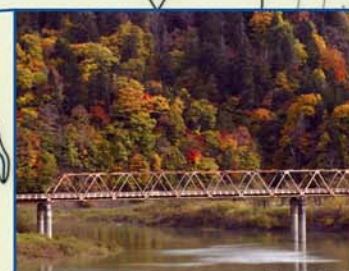




katsurazawako 桂沢湖



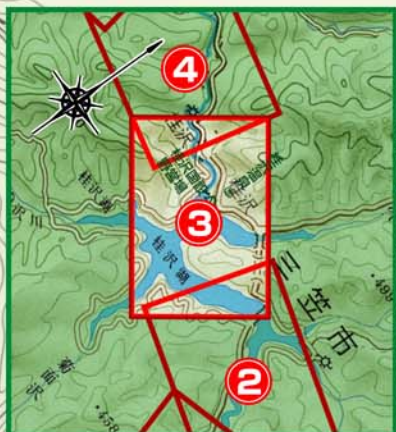
桂沢湖は、昭和32年に完成した桂沢ダムによって生まれた人造湖です。昭和37年には富良野・芦別道立公園に編入され、夏はカヌーやキャンプ、冬はワカサギ釣りと多くの人々ににぎわっています。



桂沢大橋から

緊急連絡先	
三笠市役所	01267-2-3181
三笠市消防署	01267-2-3499
三笠警察署	01267-2-8110
三笠市観光協会	01267-3-2828

0 100 200 300 400 500m

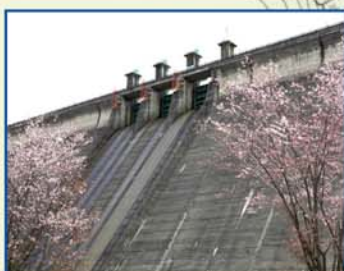


Event Calendar

- 6月下旬 フラワーライン<初夏>
- 7月中旬 フラワーライン<夏> (開催場所: 狩野橋左岸下流付近)
- 7月下旬 三笠ダムフェスタ&みかさ遊園まつり (開催場所: みかさ遊園)
- 9月下旬~10月下旬 サケの溯上調査 (開催場所: 岩見沢市川向頭首工)
- 10月上旬 幾春別川クリーン作戦 (開催場所: 桂泉橋及び錦橋周辺)
- 10月上旬 幾春別川緑の回廊づくり植栽事業 (開催場所: 桂泉橋及び錦橋周辺)
- 10月中旬 みかさ桂沢紅葉まつり (開催場所: 桂沢湖畔公園)
- 10月中旬 水辺の緑いっぱい作戦 (開催場所: 桂沢湖畔)
- 10月中旬 サケの特別採捕・体験学習 (開催場所: 桂沢湖畔)
- 10月下旬 緑の回廊メンテナンス事業 (開催場所: 桂沢湖畔)
- 11月下旬 サケの発眼卵受け入れ (開催場所: 岩見沢水道庁舎研修室)



桂橋



桂沢ダム



桂沢公園

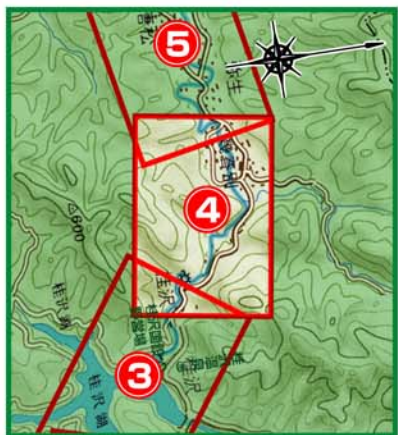


桂沢観光ホテル



温泉・スキー場・キャンプ場			
湯の元温泉	01267-6-8518	3-B	
桂沢温泉	01267-6-8225	4-E	
桂沢国設野営場	同上	4-E	
緊急連絡先			
三笠市役所	01267-2-3181		
三笠市消防署	01267-2-3499		
三笠警察署	01267-2-8110		
三笠市観光協会	01267-3-2828		

0 100 200 300 400 500m



新幾春別橋

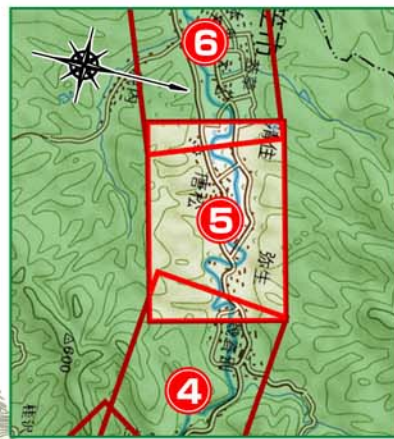


みどころ		
三笠市立博物館	01267-6-7545	4-C
森林資料展示室	同上	4-C
体験スポット		
ファミリーランドみかさ遊園	01267-6-8000	3-F
温泉・スキー場・キャンプ場		
地域健康増進センター	01267-6-7582	3-E
湯の元温泉	01267-6-8518	2-G
桂沢国設スキー場	01267-6-8235	3-F
緊急連絡先		
三笠市役所	01267-2-3181	
三笠市消防署	01267-2-3499	
三笠警察署	01267-2-8110	
三笠市観光協会	01267-3-2828	
幾春別警察官駐在所	01267-2-8076	4-B
幾春別郵便局	01267-6-8166	4-B
本間病院	01267-6-8211	4-B





北炭幌内炭鉱跡●



0 100 200 300 400 500m



温泉・スキー場・キャンプ場		
三笠温泉花月園	01267-6-8535	2-F
緊急連絡先		
三笠市役所	01267-2-3181	
三笠市消防署	01267-2-3499	
三笠警察署	01267-2-8110	
三笠市観光協会	01267-3-2828	
唐松警察官駐在所	01267-2-2559	3-C
弥生警察官駐在所	01267-2-8179	3-F
唐松郵便局	01267-2-2697	2-B
弥生郵便局	01267-6-8697	2-F



三笠山橋

mikasatetsudomura

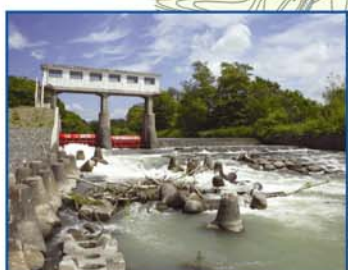
三笠鉄道村

三笠鉄道村は、歴史的遺産・文化保存のため、昭和62年にオープンしました。本物の蒸気機関車SL304号やミニ鉄道が走り、過去に道内各地で活躍したさまざまな車両も展示しています。

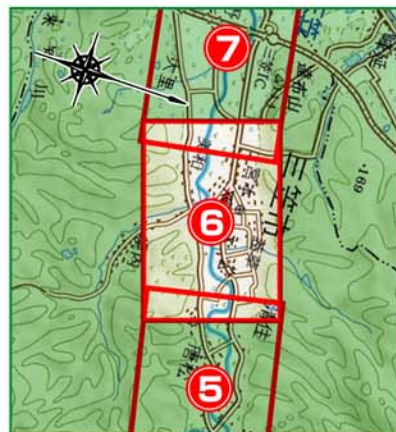
- 住所 三笠市幌内町2丁目287番地
- 電話 01267-3-1123
- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 毎週月曜日
- 冬期休館 10月16日~4月15日
- 料金 小・中学生 210円
高校生以上 520円
団体 20名以上 2割引



青山橋



市来知頭首工



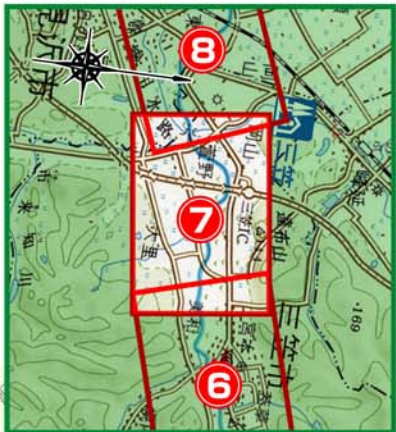
三笠北海盆踊り



三笠水管橋



みどころ		
三笠鉄道村	01267-3-1123	
体験スポット		
幾春別川パークゴルフ場	01267-2-4879	3-C
緊急連絡先		
三笠市役所	01267-2-3181	3-C
三笠市消防署	01267-2-3499	3-C
三笠警察署	01267-2-8110	3-C
三笠市観光協会	01267-3-2828	
三笠郵便局	01267-3-2363	4-C
市立三笠総合病院	01267-2-3131	4-C



菅野水管橋



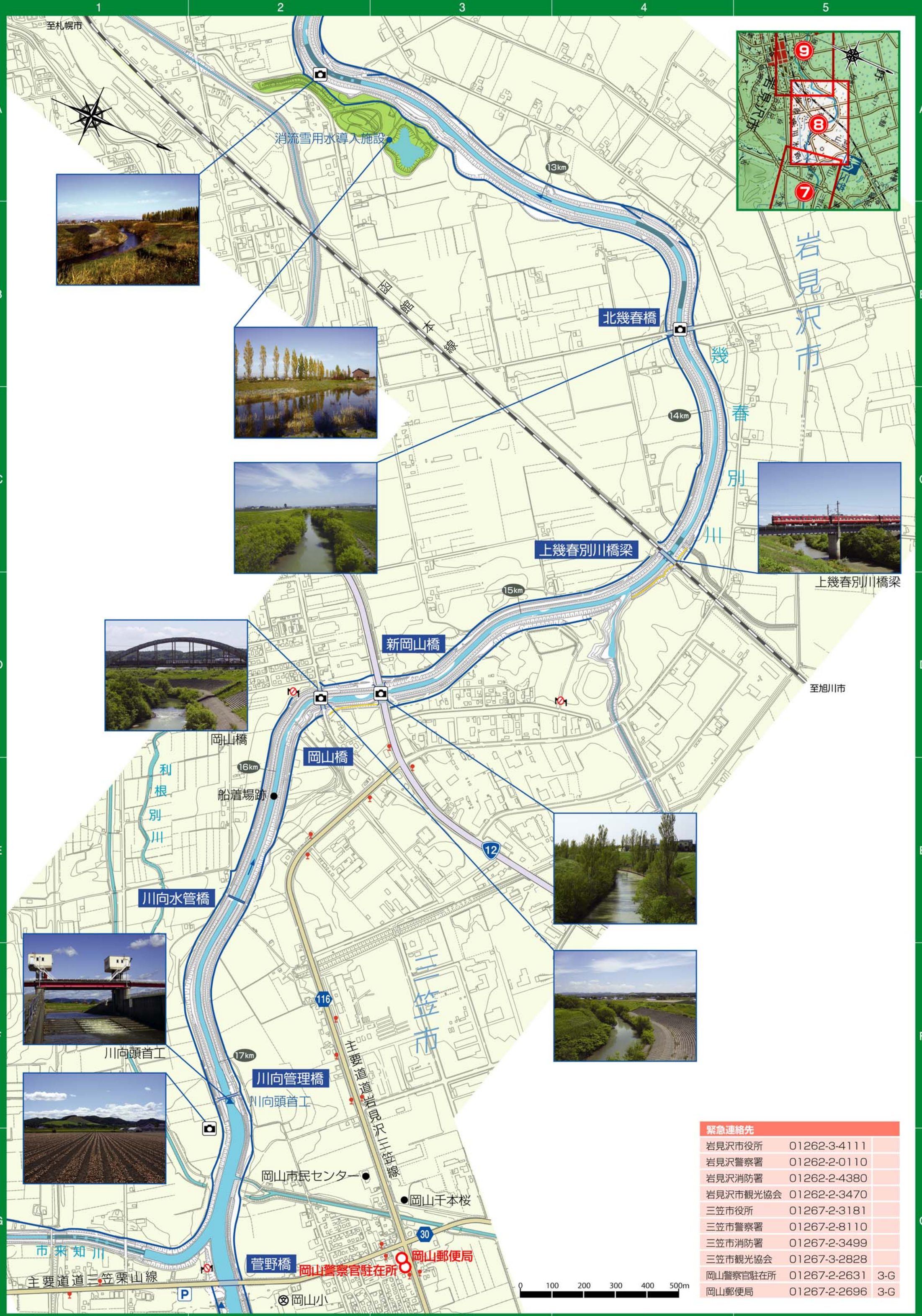
たまねぎの収穫



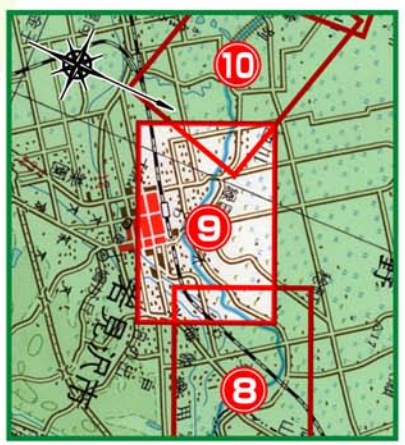
達布山から

緊急連絡先			
三笠市役所	01267-2-3181		
三笠市消防署	01267-2-3499		
三笠警察署	01267-2-8110		
三笠市観光協会	01267-3-2828		
岡山警察官駐在所	01267-2-2631	4-A	
岡山郵便局	01267-2-2696	4-A	

0 100 200 300 400 500m



緊急連絡先		
岩見沢市役所	01262-3-4111	
岩見沢警察署	01262-2-0110	
岩見沢消防署	01262-2-4380	
岩見沢市観光協会	01262-2-3470	
三笠市役所	01267-2-3181	
三笠市警察署	01267-2-8110	
三笠市消防署	01267-2-3499	
三笠市観光協会	01267-3-2828	
岡山警察官駐在所	01267-2-2631	3-G
岡山郵便局	01267-2-2696	3-G



西新橋



消火用水護岸



あさざり公園 (野球場)



北盛橋



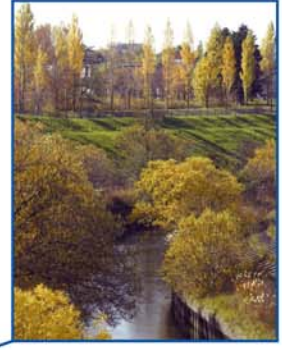
北盛橋



みずほ公園



狩野橋



岩見沢発祥の地記念公園 column.

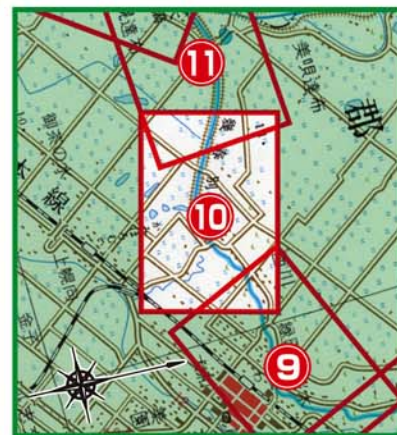
幾春別川の川辺に開拓当初宿泊所が設けられたのが岩見沢の始まりと言われており、昭和58年に開基百年を迎えて、現在の北本町に岩見沢発祥の地として記念公園が整備されました。(2-D)

体験スポット	
幾春別川リバーパークゴルフ場	3-B
緊急連絡先	
岩見沢市役所	01262-3-4111
岩見沢警察署	01262-2-0110
岩見沢消防署	01262-2-4380
岩見沢市観光協会	01262-2-3470
桜木警察官駐在所	01262-2-6119 3-E
岩見沢消防北盛出張所	01262-2-0062 2-D
元町郵便局	01262-3-0943 2-D



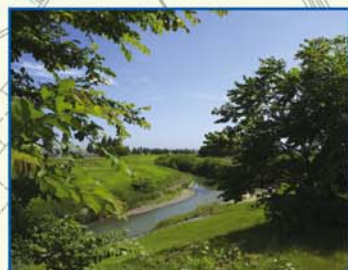
消流雪用水導入施設





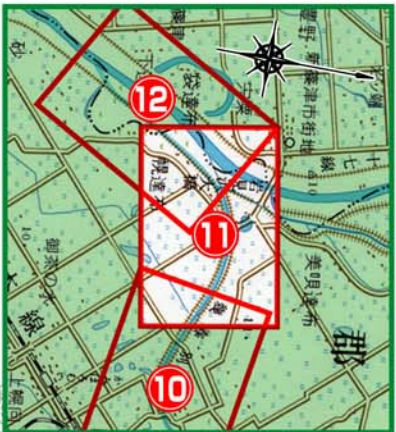
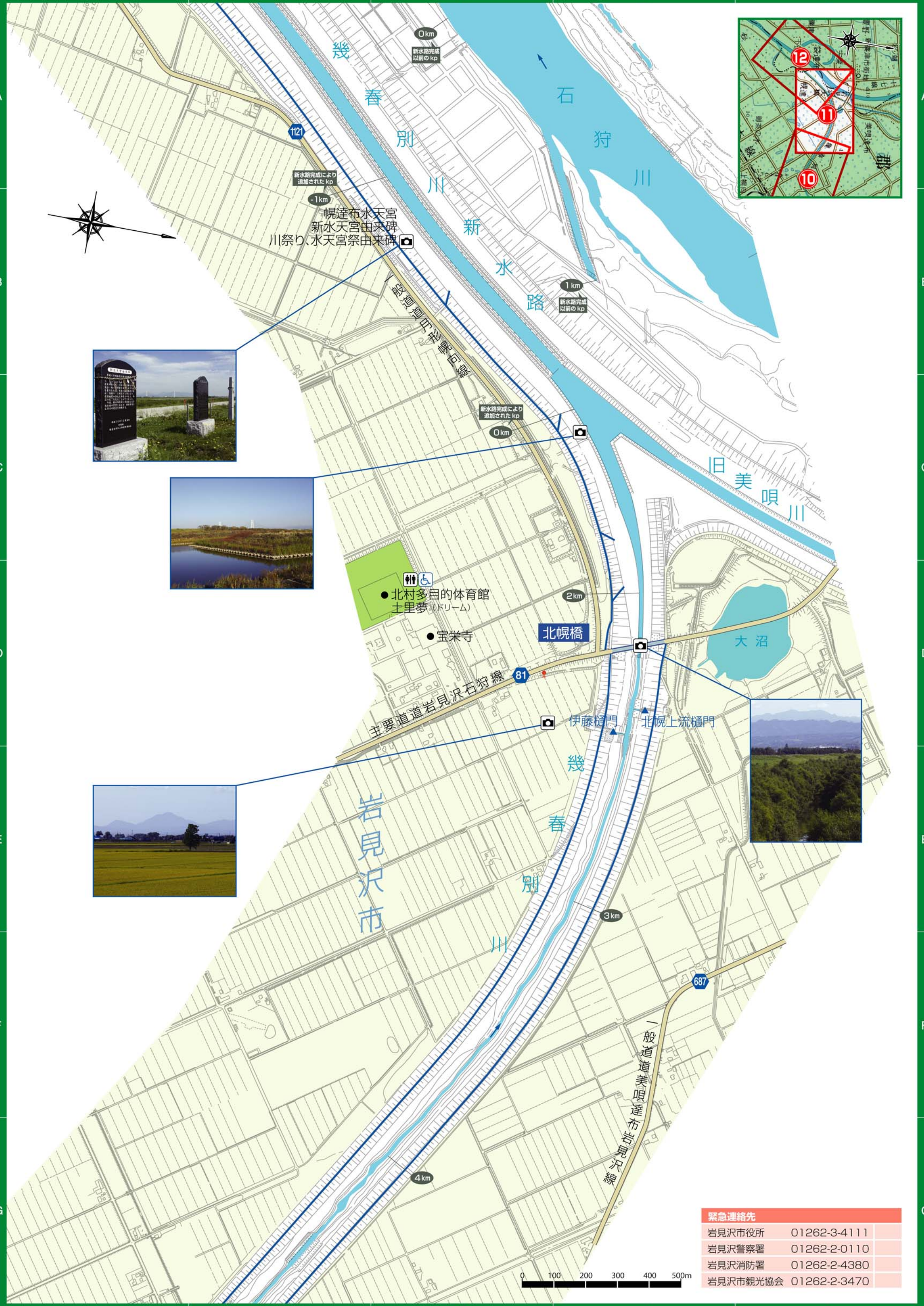
岩見沢市
iwamizawa

岩見沢は、石狩川北岸地帯の豊富な資源開発と生産物資の集散地の拠点として発展してきました。北海道グリーンランド遊園地やあやめ公園、世界一大きな臼で餅をつく「ふるさと百餅祭り」が有名なほか、米、玉葱、ゆり根、ジャガイモなど多くの特産品が生産されています。



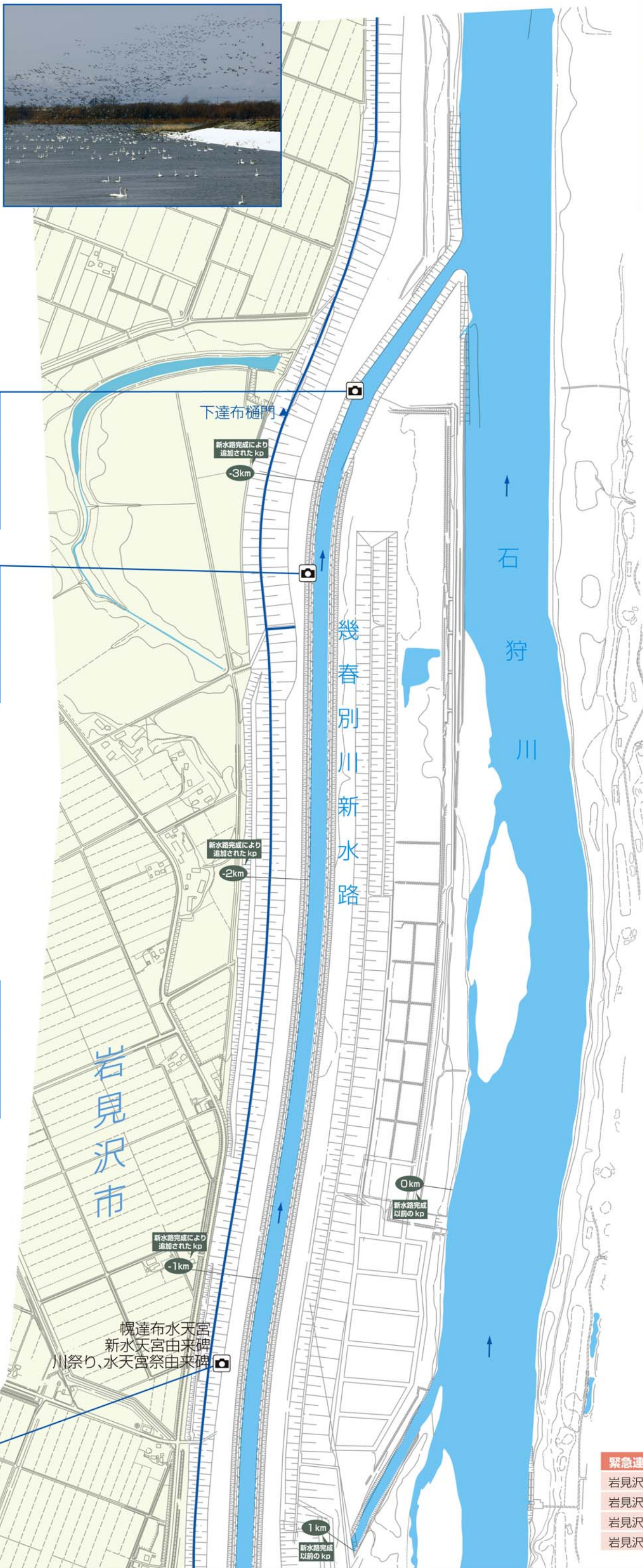
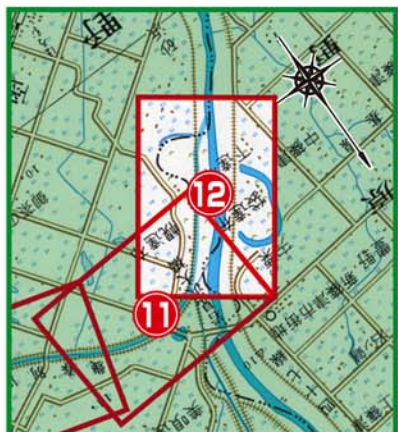
緊急連絡先	
岩見沢市役所	01262-3-4111
岩見沢警察署	01262-2-0110
岩見沢消防署	01262-2-4380
岩見沢市観光協会	01262-2-3470





緊急連絡先	
岩見沢市役所	01262-3-4111
岩見沢警察署	01262-2-0110
岩見沢消防署	01262-2-4380
岩見沢市観光協会	01262-2-3470

0 100 200 300 400 500m



緊急連絡先		
岩見沢市役所	01262-3-4111	
岩見沢警察署	01262-2-0110	
岩見沢消防署	01262-2-4380	
岩見沢市観光協会	01262-2-3470	